

1 単元名 第3章 日本の諸地域 第2節 中国・四国地方

2 単元の目標

- 中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解することができる。また、交通や通信を中核として考察し、この地域で生じている課題を理解することができる。(知識及び技能)
- 中国・四国地方において、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- 中国・四国地方について、より良い社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究することができる。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、中国・四国地方について、交通や通信を中核とし地域的特色を考察していく。私たちが住んでいる新居浜市も中国・四国地方の中の一つの地域であり、中国・四国地方の他の地域においても現状や課題に共通性が見られる。その中で、現在の中国・四国地方の現状や課題を考えることで、自分たちの住む地域の現状と課題を考えるきっかけとしたい。また、共通する課題として地方の過疎化が挙げられるが、その過疎に対してどのような対策を行っているのか、私たちにできることは何かということを考えさせることで、住み続けられる街づくりを担う地域の一住民としての態度を養っていききたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、普段から非常に活発で、社会科に対する関心が高く、自分の考えを積極的に発言することができる。また、この地域のことが大変好きで、この地域を何とかしたいという気持ちを強く持っている生徒たちである。この船木地区は、地域行事も多く、地域住民は船木校区の子どもたちに地域の宝として接し、学校の教育活動に対して非常に協力的である。しかし、地域人口は徐々に減り続け、今後、生徒数も減少することがほぼ確実となっている。本校では、総合的な学習の時間において、準絶滅危惧種の保護に関する学習を行ってきた。その学習では、この地域が素晴らしい自然環境を持っていること、地域の方々がこの自然を守っていかうと努力を重ねていることを理解している。地域に対する深い愛情と、地域住民からの深い愛情を受けている生徒たちだからこそ、この学習で、地域の現状と課題を知り、地域の活性化に必要なことを考える重要な機会としたい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず中国・四国地方の自然環境と農業や工業などの産業構造について大観し、地域の特色を理解させる。また、交通網の整備が地域にどのような影響を与えているのかを理解させ、課題についても考えることができるようにする。過疎や高齢化などといった地域の課題について理解し、その課題を改善するために、それぞれの地域が様々な対策を行っていることを理解させる。

中国・四国地域について理解を深めたところで、私たちの住んでいるこの地域にはどのような魅力があり、人々を呼び寄せるためにどのような対策が行われているかを調べる。書籍やインターネットを活用して、愛媛県や新居浜市がどのような対策を行っているかを調べ、地方公共団体の取組について理解させる。

ここでもっと範囲を絞って、地域住民の方の話を聞く機会を設け、今まで知らなかった船木校区の魅力を見ることができるようになる。私たちが住む地域のすばらしさを理解し、私たちにできることはないかを話し合い、考えることができるようにする。ゲストティーチャーの話や生徒同士の話し合いの中で、地域の魅力を理解し、自分たちにできることは何かを考えることで、これからの活動にもつなげていくことができるようにしたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性…現在の地域の実態は、これまでの人々の営みの結果である。未来の地域は現在の私たちの取組によって変化するということ。

公平性…世代内で諸課題の解決に取り組むことは大切であるが、限られた世代だけで取り組んでも得られる効果が薄く、世代間の協力が不可欠であるということ。

責任性…未来を作るのは私たちの世代であり、私たちが各世代と協力して地域を活性化させる責任を有するということ。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

現在の地域の現状を理解し、このままいくと地域がどのようなようになるかを予測し、課題を見つけ、解決に向けて取り組み方を考え、計画する。

多面的・総合的に考える力

現在の地域の現状を様々な視点から見つめ、どのような課題があるかを考え、世代間の不公平感を生まず、課題解決のために必要な方法を総合的に考える。

他者と協力する態度

地域の方と考えたり、生徒間で課題解決のために話し合いを行ったりし、人とのつながりで課題を解決していこうとする。

つながりを尊重する態度

私たちはちいきとつながり地域によって生かされていることを理解し、自分たちも地域に対して積極的につながろうとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

様々な世代が交じり合って地域が作られている。どの世代にとっても不公平感のない地域づくりを行うことが重要である。

世代内の公正

これからの地域を作るのは私たち若い世代である。積極的に関わり、仲間と協力して取り組んでいく。

人権・文化の尊重

地域の文化は宝であり、同時に人間も宝である。特色ある文化に触れ、かかわる人々に対する尊敬の態度が重要である。

・達成が期待される SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

持続可能な社会の実現に向けた地域の活性化

4 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①中国・四国地方の自然環境、産業等について理解している。また、この地域が抱えている課題とその解決のために各地で取り組んでいる対策について理解している。</p> <p>②中国・四国地方での実態と自分たちの住んでいる地域を重ね合わせ、自分たちの住む地域の課題や行われている取組について理解している。</p>	<p>① 調べた資料や聞いた話を基に課題を見出し、地域の課題に対する解決策や、自分たちにできることについて考え、表現している。</p> <p>②解決策が地域や住民の実情に合っているか考えたり、話し合ったりして修正し、より良い案を考えている。</p>	<p>①より良い地域を作ろうという目的意識を持ち、積極的に地域住民に関わろうとしている。</p> <p>②地域の課題や解決策について、自分で考えたことや学級で話し合ったことを、地域に発信しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全8時間）

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1 中国・四国地方はどんな特色を持った地域なのだろう。（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛といえばみかんだね。他の地域はどんな農産物が有名なのだろう。 ・新居浜は工業都市だから人口は他の地域より多いね。 ・瀬戸大橋を使って電車で大阪に遊びに行ったことがあるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中国・四国地方の現状を学びながら改めて愛媛県や新居浜市を見ることで、私たちの住んでいる地域の特色に気付くことができるようにする。 ○併せてどのような課題があるのか、その対策として県や市はどのような対策を行っているのかを捉えさせる。 	<p>ア①（知・技）</p>
<p>2 課題に対する新居浜市の対策について調べよう。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜市は移住を促進するための取組を行っているんだね。 ・太鼓祭りを大阪万博で紹介して、観光客が増加するように取り組んでいるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書籍やインターネットを使って新居浜市の取組について調べ、地方公共団体の取組について考えることができるようにする。 	<p>ア②（知・技） イ① （思・判・表） ウ①②</p>
<p>3 船木地区の魅力や課題について、地域の方の話を聞いて考えよう。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田池が四国で2番目に大きい池だなんて知らなかった。地域行事もこんなにたくさんあるんだね。 ・公民館主催のボランティア活動に参加したことがあるよ。 ・住民が減ってきていることはとても残念だ。 <p>4 地域を盛り上げるために私たちができることを考えよう。（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず地域行事に私たちが積極的に参加することが第一だね。 ・地域の魅力をアピールできる広報誌を作ってみたい。SNSで広げていくのもいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーとして地域住民の方にお話をしてもらい、地域の魅力や課題について考えることができるようにする。 ○船木地区の魅力についてグループで話し合い、新たな魅力に気付くことができるようにする。 ○課題を理解した上でその解決のために私たちにできることをグループで話し合い、考えることができるようにする。 	
<p>5 活動の振り返りをしよう。（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域に住んでいても気付いていない魅力に気付くことができよかった。 ・地域には様々な課題があるけど私たちの取組で変えられることもありそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○考案した取組で、可能なものについては、総合的な学習の時間での学習につなげられるようにする。 	<p>イ② （思・判・表） ウ② （主体的）</p>